

## グリップヒータアタッチメント

品目名	部品番号	対象機種	発行日	Publication No.	取付工数
グリップヒータ	08T71-MKK-D02	CBR250S3A	2023.1	MII	1.4 H
グリップヒータアタッチメント	08T70-K64-JA0				
グリップヒータサブハーネス	08T70-K64-JH0				

### はじめに

- ・記載内容や仕様などは、車両の改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- ・このマニュアルはメカニックなど Honda モーターサイクルの基本的な技能や知識を持った人を対象として編集しています。したがって、技能や知識を持っていない人が本書のとおりを整備しても正しい整備ができないことがあります。

### Honda 二輪販売店様へ

この取扱説明書は、必ずお客様へお渡しください。

### お客様へ

用品の取付には専門知識と特殊工具及び設備が必要になるため、自動車整備有資格者のいる販売店での取付をお勧めします。

### シンボルマーク

下記のシンボルマークはこのマニュアルを通して作業上の注意事項、案内を示している。

-  **警告** 指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの
-  **注意** 指示に従わないと、傷害をうける可能性があるもの
-  **アドバイス** 守らないと車両や構成部品が損傷するため、行ってはいけない事項および作業要領
-  **知識** 作業を行う上で、知っておくと作業の効率化につながる情報や補足説明
-  **本機サービスマニュアルを参照**
-  **“Installation Instructions BASIC 編”を参照**

### その他のシンボル

各シンボルの説明は“Installation Instructions BASIC 編”を参照してください。

## 取付について

### 警告

- ・左側グリップヒータとハンドルの接着を確実にを行うために必ず指定の接着剤 (Honda ボンド A) を使用し、接着されるまで乾燥させ、必ず確実に接着されているか確認してください。指定外の接着剤を使用したり、十分な乾燥時間をとらないと走行中にグリップヒータが外れることが原因で転倒事故などを起こし、死亡または重大な傷害に至る可能性が高くなります。
- ・右側グリップヒータを車両に取り付けたときは必ずスロットルの開閉を行い、引っかかりが無いか確認してください。確認をおこたった場合、スロットルの戻り不良が原因で転倒事故などを起こし、死亡または重大な傷害に至る可能性が高くなります。

### 注意

- ・取り付け、取り外し作業はエンジン、マフラが完全に冷えてから行ってください。高温のまま作業を行うと、火傷などを負う可能性が高くなります。

### アドバイス

- ・部品の脱着をするときは、塗装面への傷付きに注意して作業をしてください。
- ・APS ユニットの周囲に磁場感受性の高いものや磁石を置かないでください。

**知識**

- ・ 取り外した部品は、元の仕様に戻すとき必要になりますのでお客様にお渡しください。
- ・ 外装部品などの再取り付け時、配線類のかみ込みがないことを確認してください。
- ・ 取り付けは、必ずバッテリー (-) ケーブルを外してから行ってください。
- ・ バッテリーを外したときは、車両のオーナーズマニュアルを参照してメータを再設定してください。
- ・ ハーネスバンドの余った部分はカットしてください。また、カットした部分が他のハーネスやブレーキホースなどに干渉しないようにしてください。
- ・ ハーネスバンドでハーネスを固定するときは 360° 以上ねじらないでください。

**取付完了後の確認**

- ・ ハンドルを左右に転舵し、周辺部品の干渉などによるハーネスの引っ張りがないことを確認してください。
- ・ ハンドルを左右に転舵し、本製品が車両に干渉しないことを確認してください。
- ・ グリップヒータ、スロットル、灯火器類の作動について確認してください。  
左側グリップヒータの確認は、取り付けてから一時間以上後に行ってください。また、接着剤軟化を防止するために、ヒータレベルを 3 以上にしないでください。  
作動確認後は、ヒータスイッチを OFF にしてください。

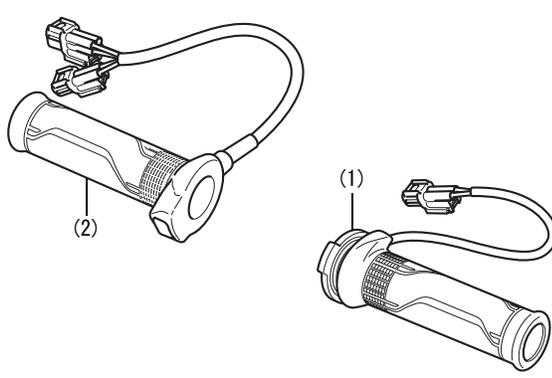
**お客様の受け渡し時にお伝えください。**

- ・ 接着剤が硬化するまでの一週間は、ヒータレベルを 2 以上にしないでください。

**構成品**

取扱説明書及び取付要領書が同梱されているときは、必ずお客様にお渡しください。

<グリップヒータ>

構成品	No.	部品名	個数	部品番号
	(1)	右側グリップヒータ	1	08T01-MKK-D20
	(2)	左側グリップヒータ	1	08T00-MKK-316

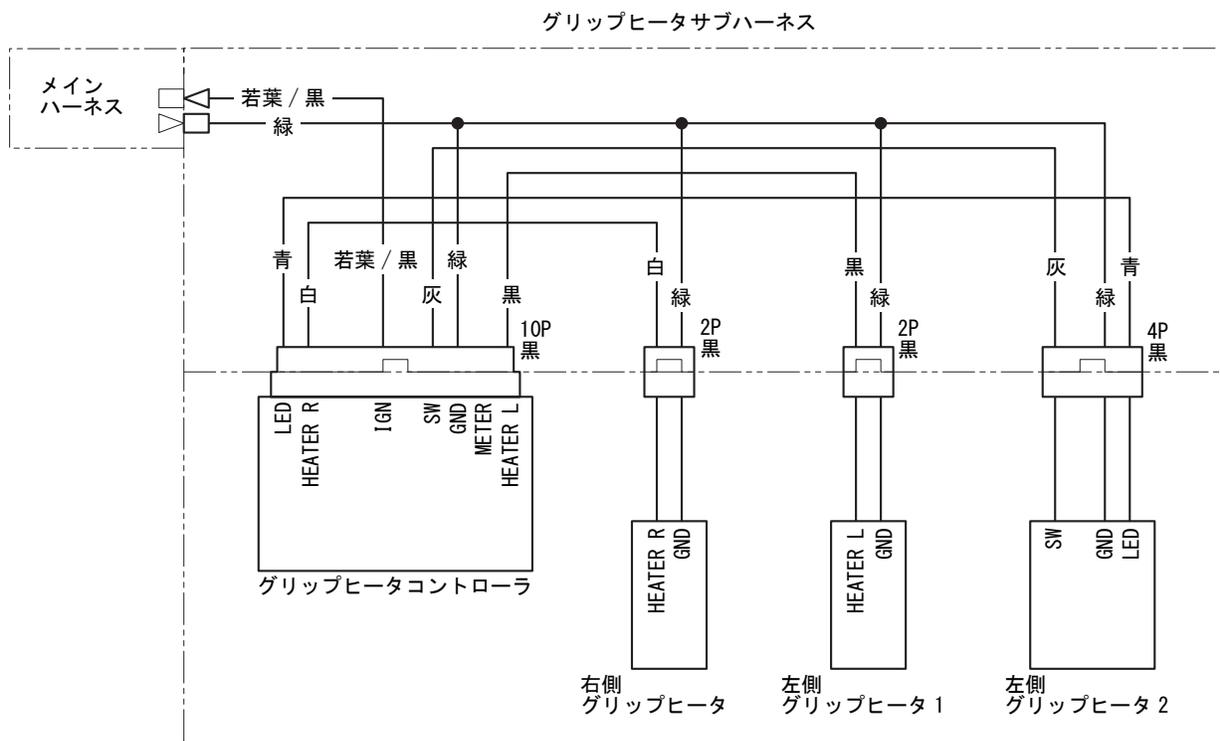
## <グリップヒータアタッチメント>

構成部品	No.	部品名	個数	部品番号	
	(3)	グリップヒータ コントローラ	1	35530-MJN-D12	
	(4)	3.55×140* mm ハーネスバンド	9	35701-MG9-950	
	(5)	20×20 mm デュアルロックファスナ	2	64243-MEW-920	
	(6)	3.6×281* mm ハーネスバンド	1	91642-MJT-E00	
	(7)	プライマー	1	-	
	* : バンド結束部の長さを含む				

## <グリップヒータサブハーネス>

構成部品	No.	部品名	個数	部品番号
	(8)	グリップヒータ サブハーネス	1	-

配線図

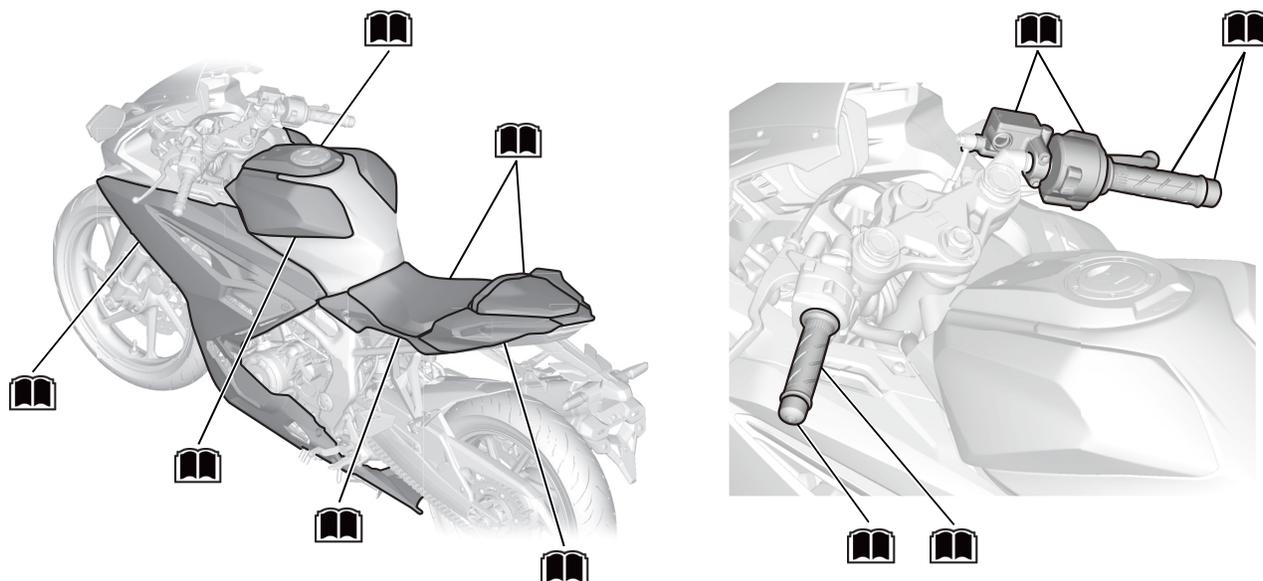


トルクについて

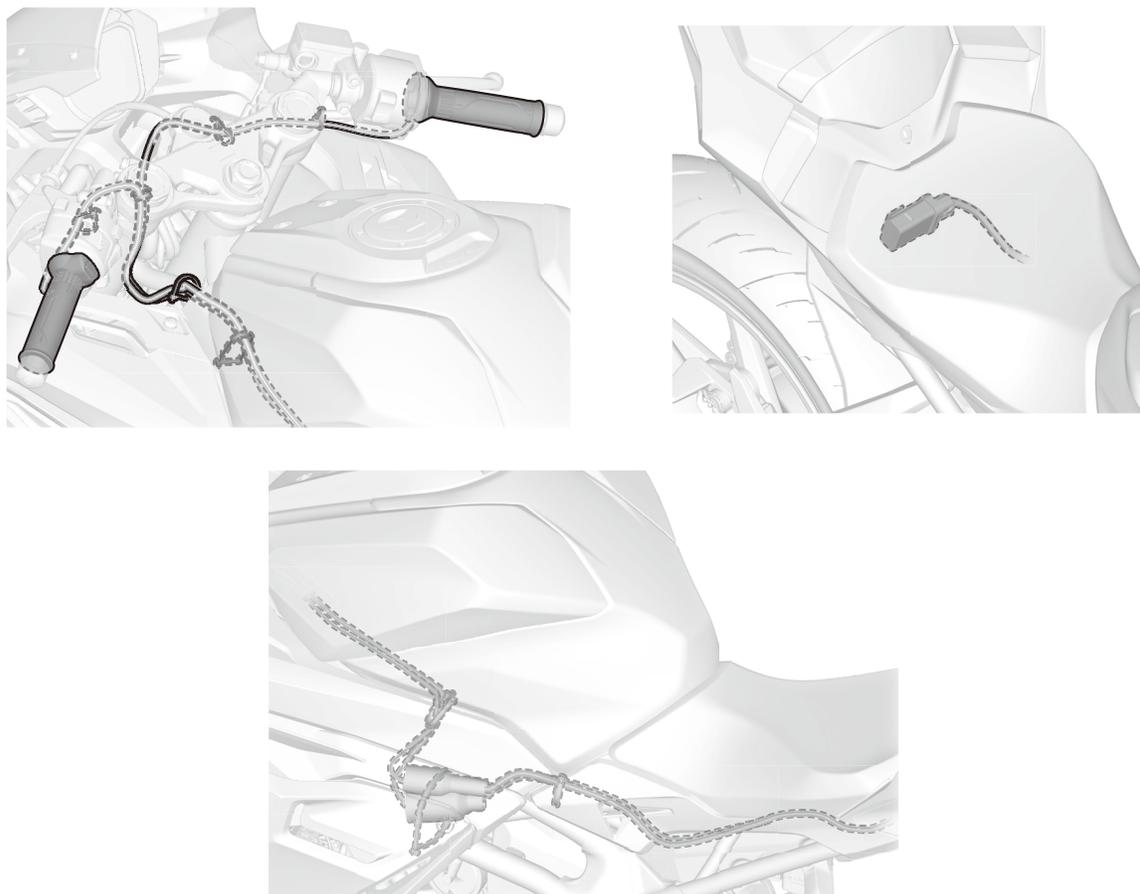
車両の部品の締め付けトルクはサービスマニュアルを参照してください。(📖)

## 取付方法

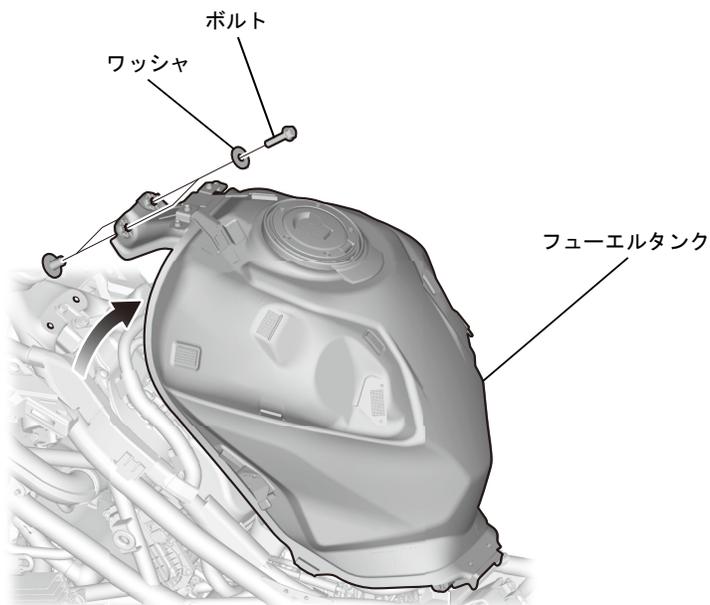
1. サービスマニュアルを参照し、図の車両部品を取り外し、バッテリー（-）ケーブルの接続を外す。 (📖)  
 ・ 右側も同様に取り外す。



用品取付イメージ

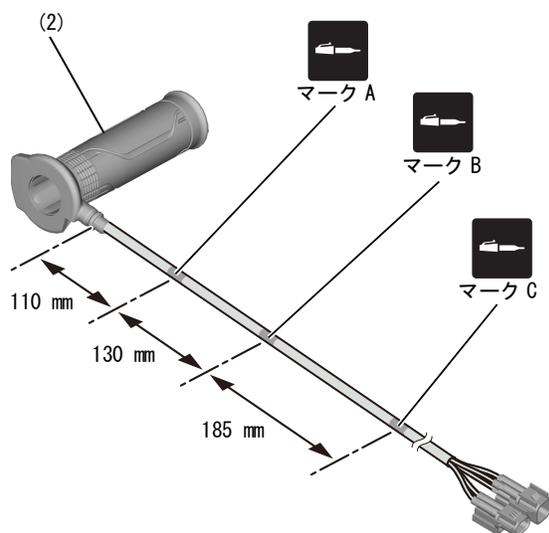


2. サービスマニュアルを参照し、図のようにフューエルタンクを上げる。  
 ・持ち上げたフューエルタンクは安全に保持してください。

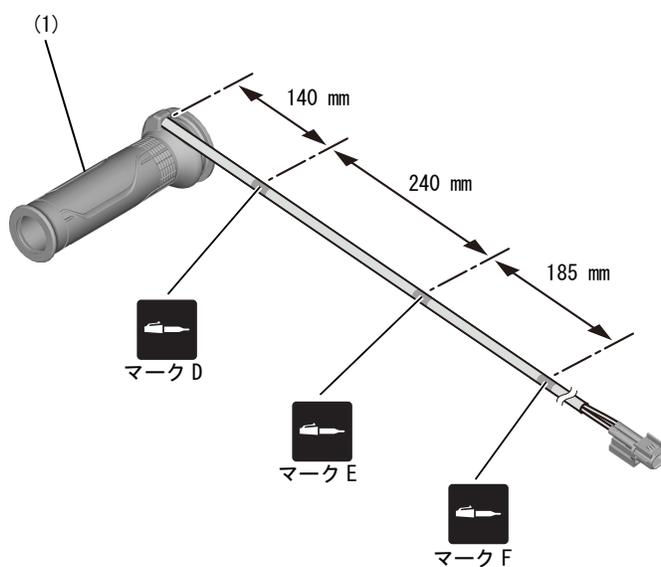


3. 図の寸法でマークを付ける。

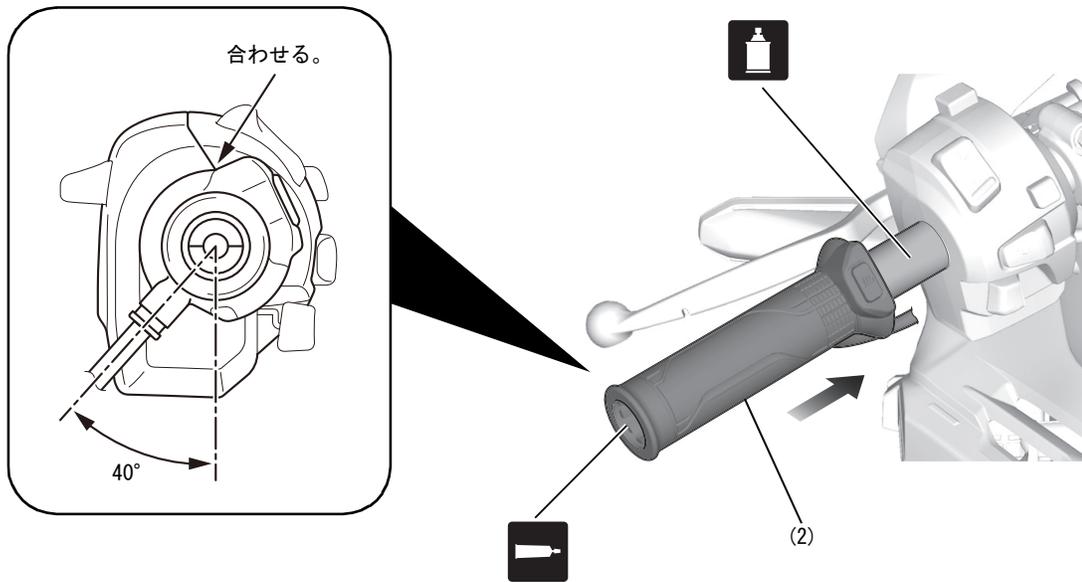
〈左側〉



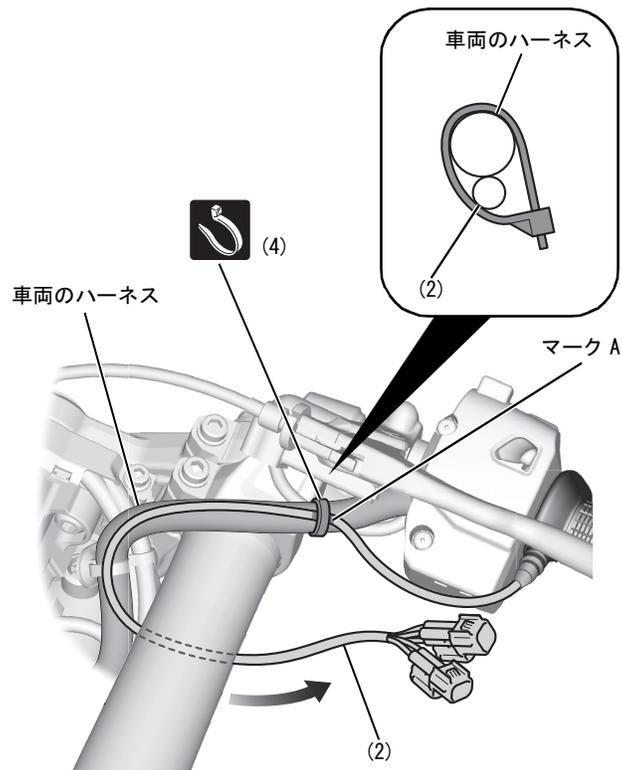
〈右側〉



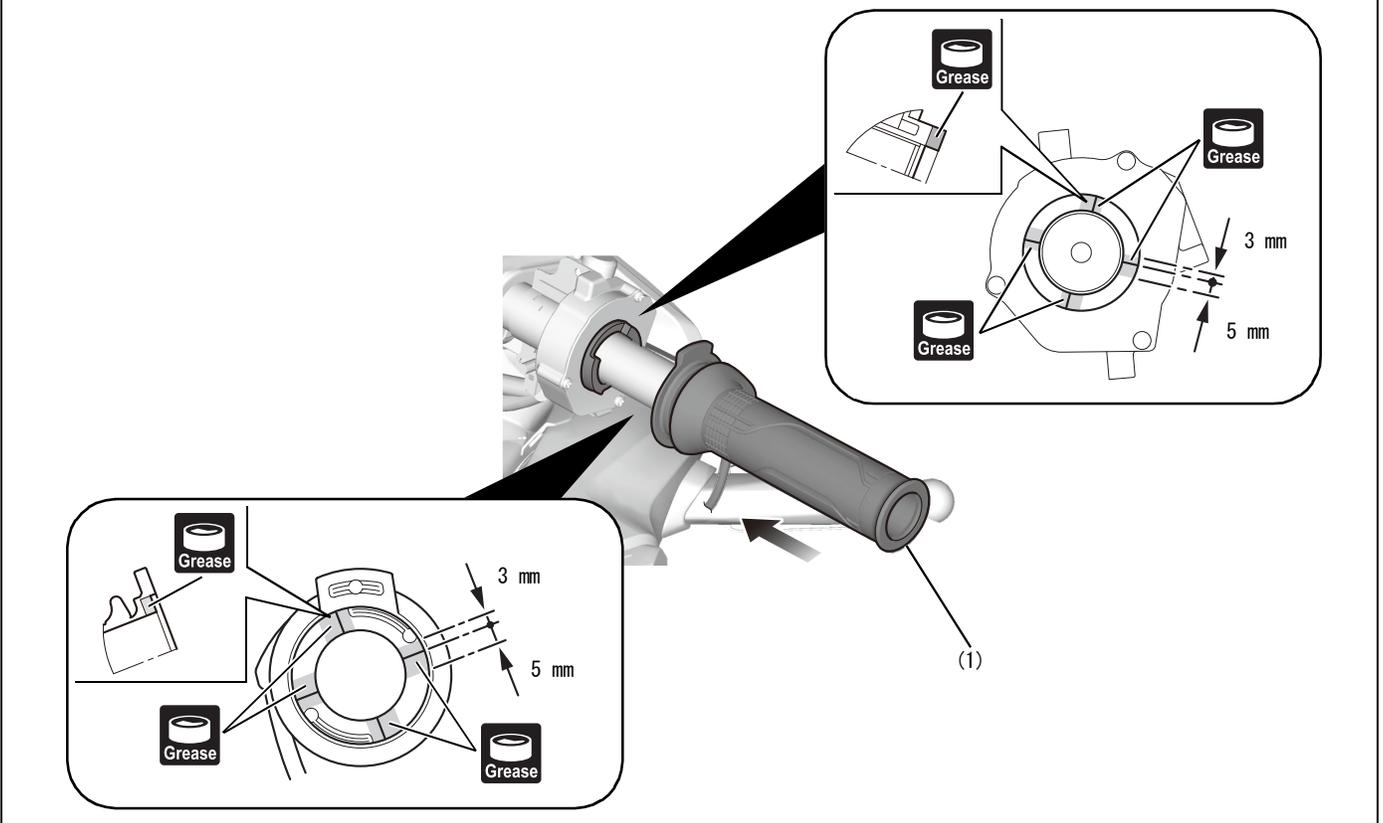
4. 図のように取り付ける。



5. 図のようにハーネスを取り廻し、バンドで固定する。  
 ・ハーネスバンドの余った部分は5 mm 以下でカットしてください。

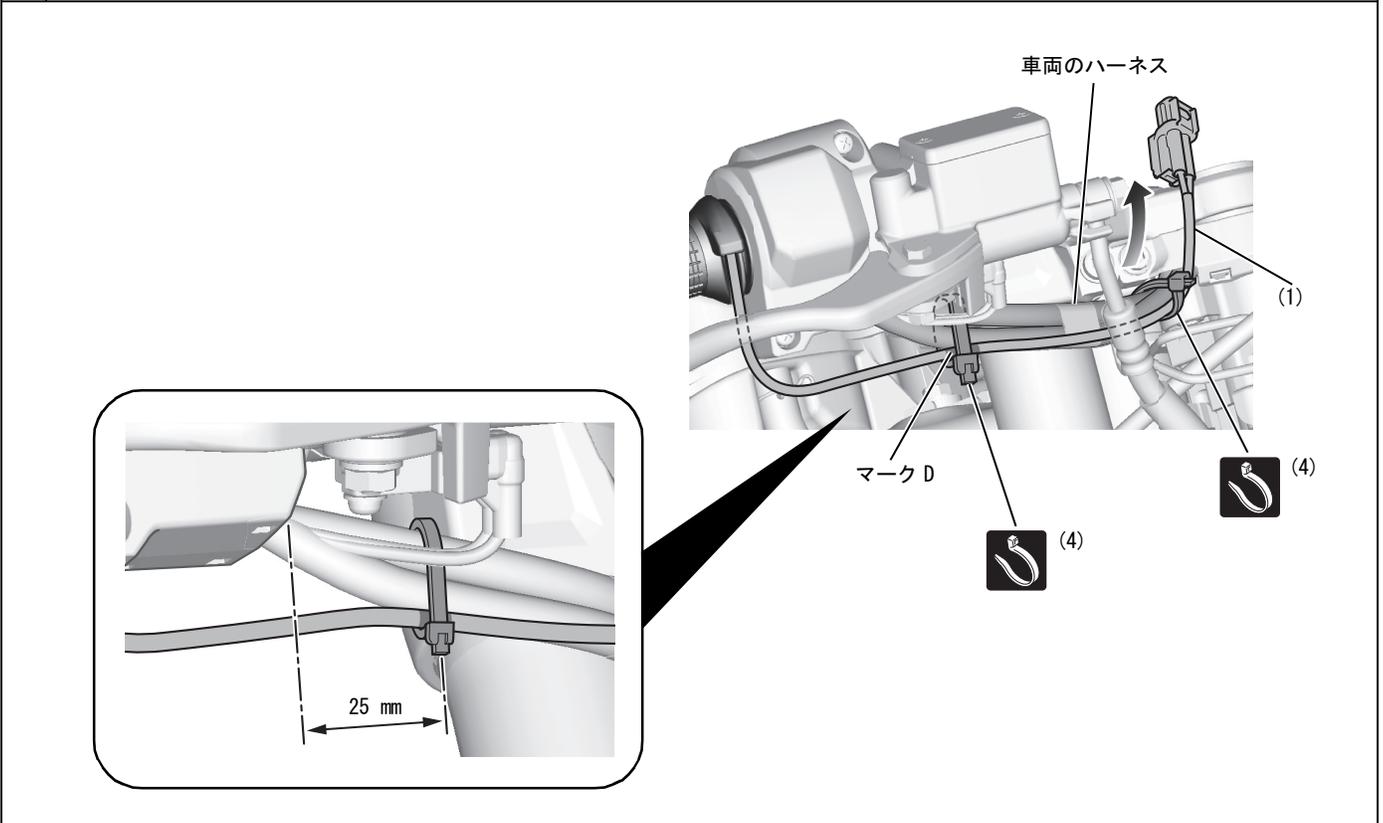


6. 図のように取り付ける。

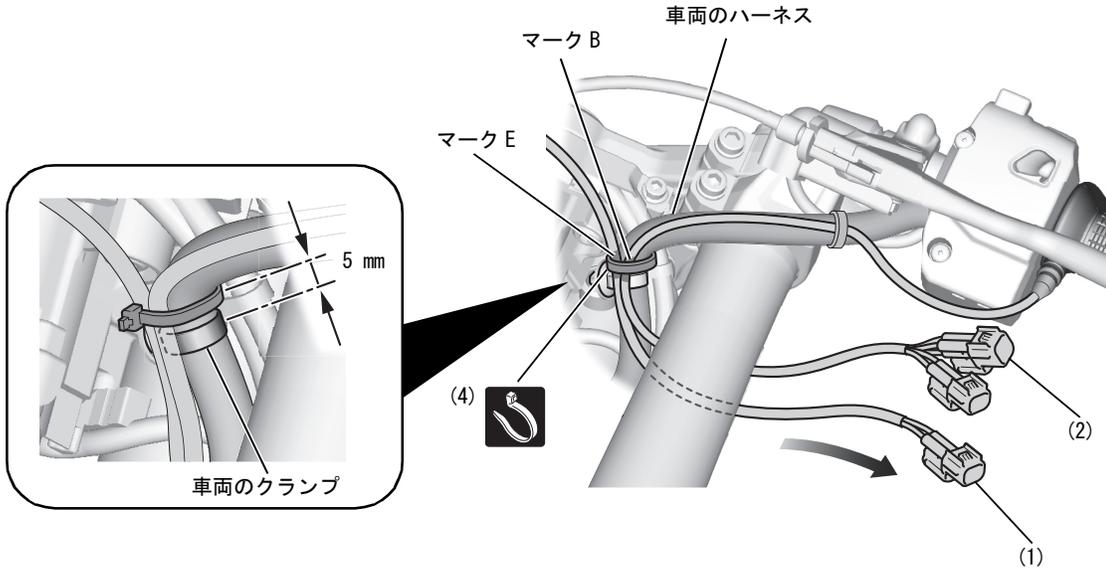


7. 取り外しの逆手順で右側ハンドルスイッチボックス、フロントブレーキマスターシリンダを取り付ける。

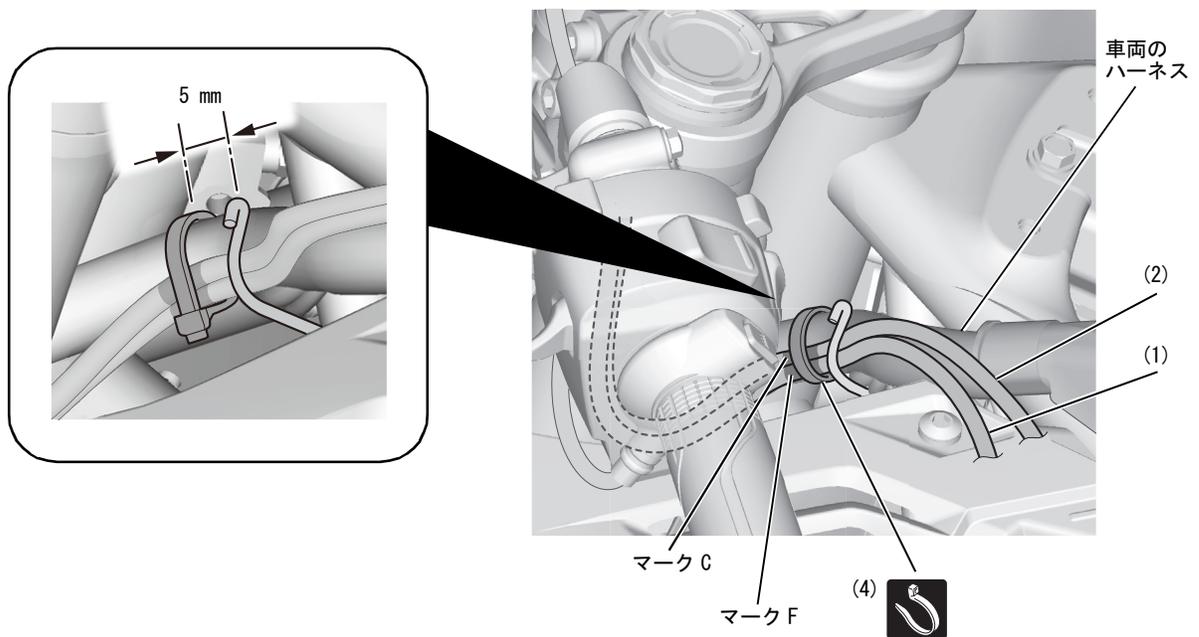
8. 図のようにハーネスを取り廻し、バンドで固定する。  
 ・ハーネスバンドの余った部分は5 mm 以下でカットしてください。



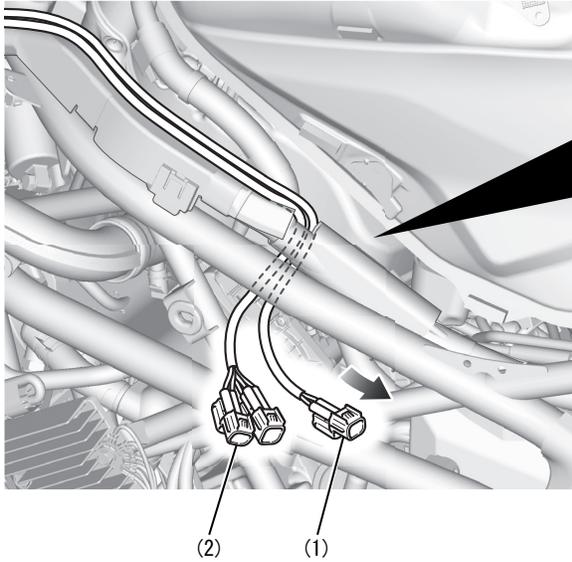
9. 図のようにハーネスを取り廻し、バンドで固定する。  
 ・ハーネスバンドの余った部分は 5 mm 以下でカットしてください。



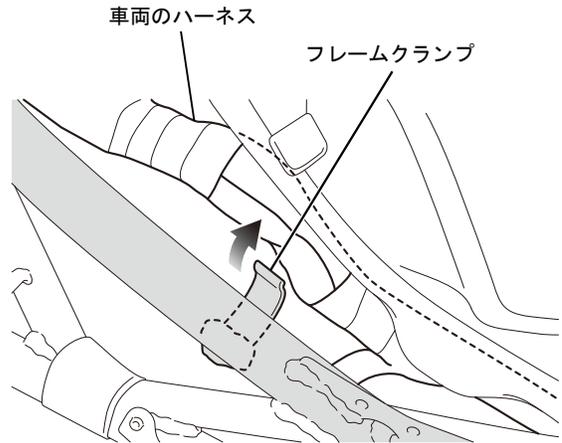
10. 図のようにハーネスを取り廻し、バンドで固定する。  
 ・ハーネスバンドの余った部分は 5 mm 以下でカットしてください。



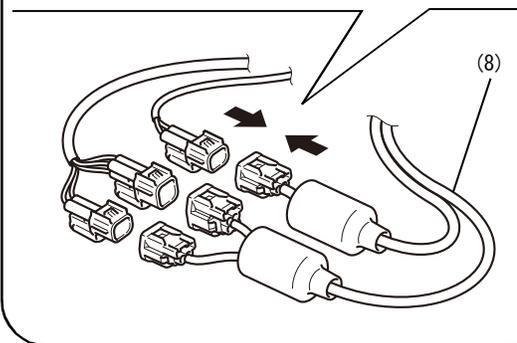
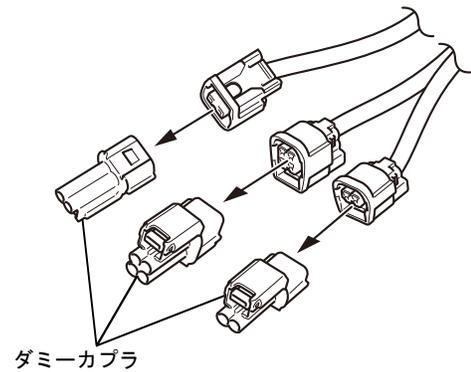
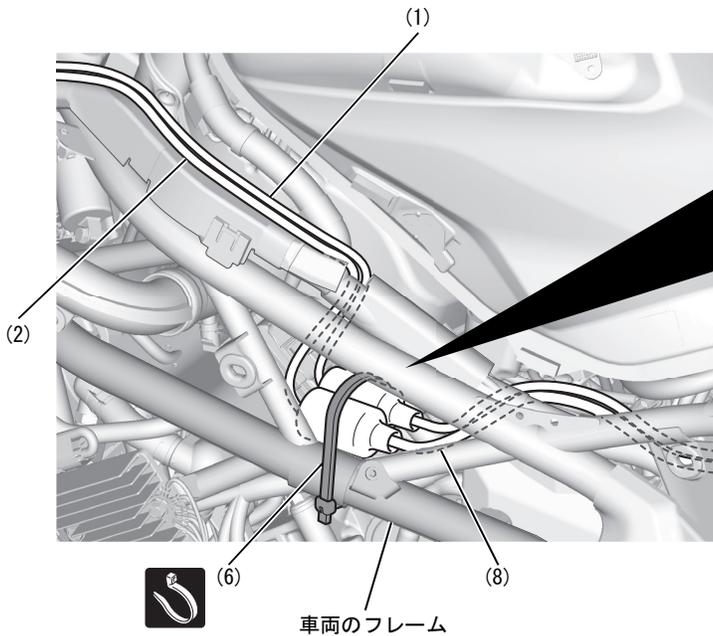
11. 図のようにハーネスを取り廻す。



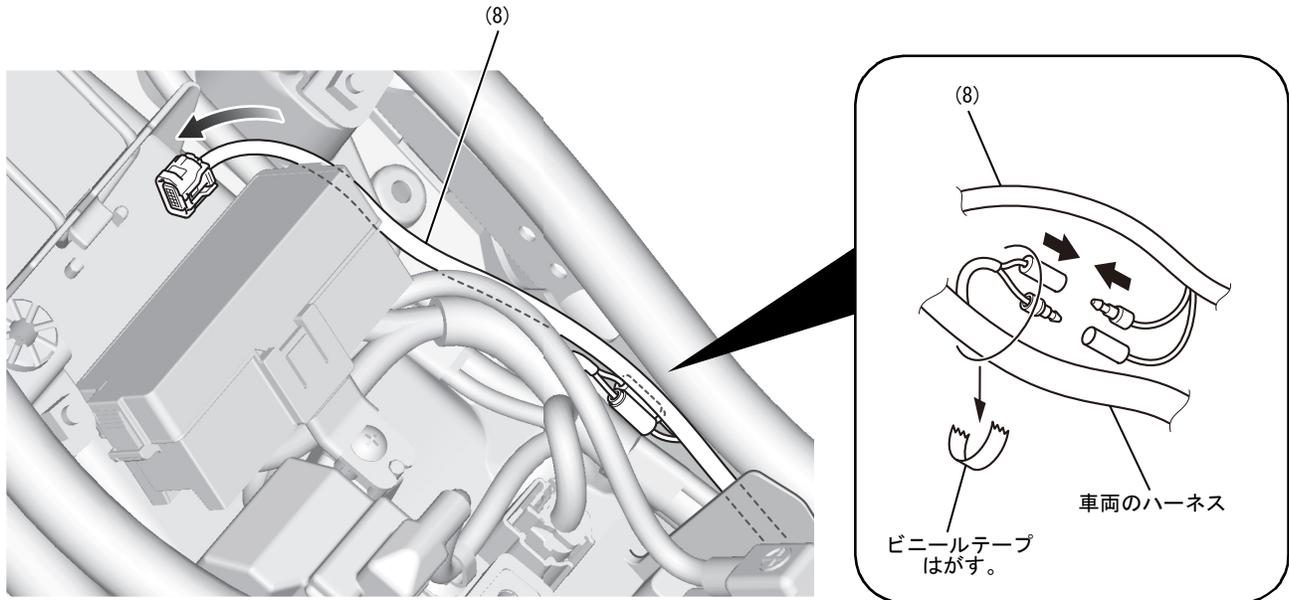
車両のハーネスをフレームクランプから外す。



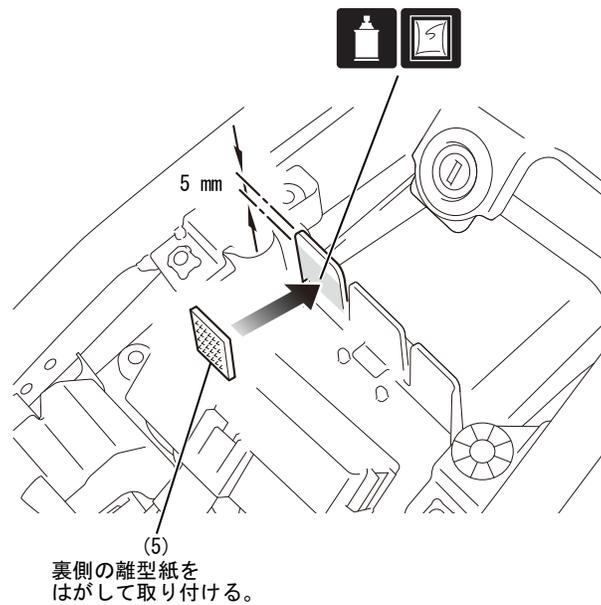
12. 図のようにハーネスを取り廻す。  
 ・ ハーネスバンドの余った部分は 5 mm 以下でカットしてください。



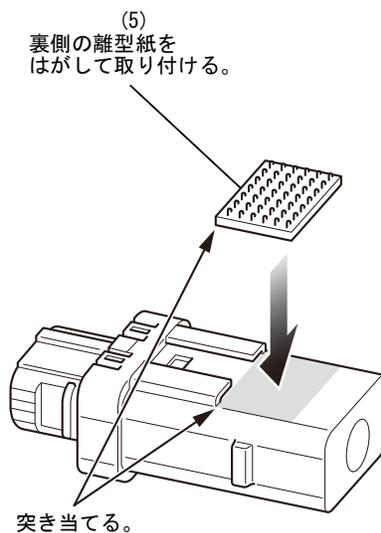
13. 図のようにハーネスを取り廻し、接続する。



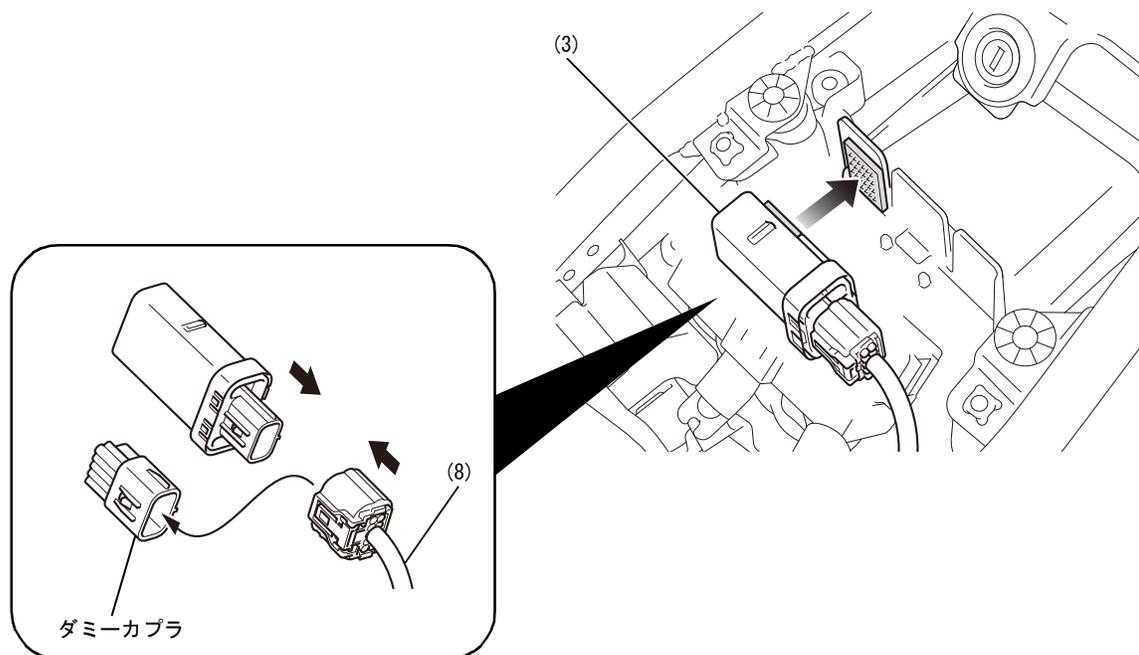
14. 図のように取り付ける。



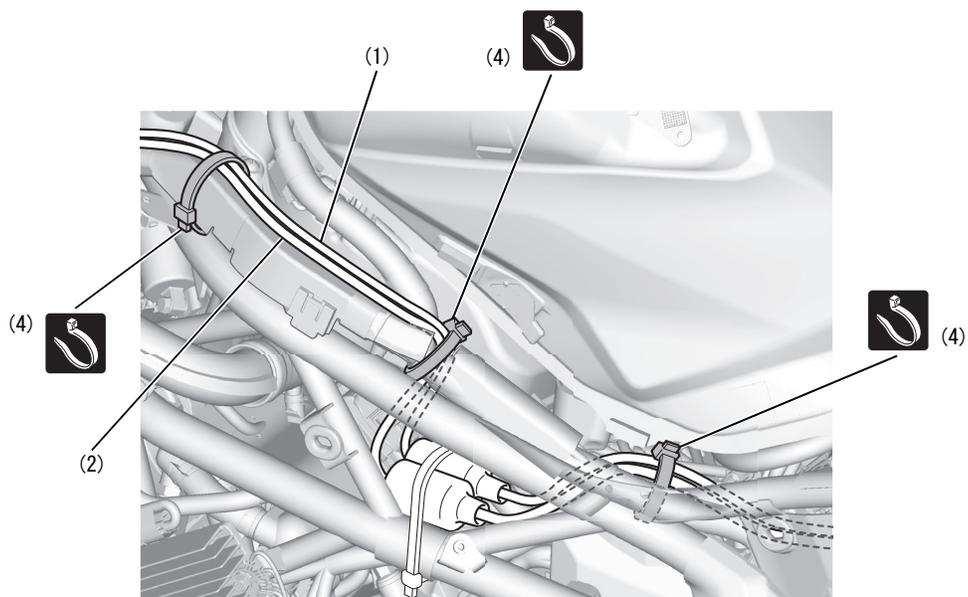
15. 図のように取り付ける。



16. 図のように取り付ける。



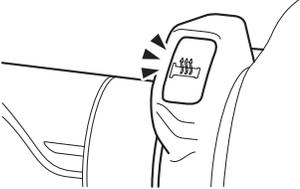
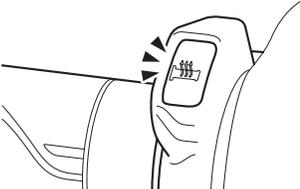
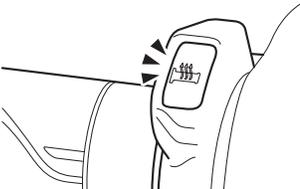
17. 図のようにバンドで固定する。  
 ・ハーネスバンドの余った部分は 5 mm 以下でカットしてください。



18. 取り外しの逆手順で、取り外した車両部品を取り付ける。  
 ・各ケーブル、ハーネスなどのかみ込み、引っ張りがないことを確認してください。

## 販売店様故障診断

・ グリップヒータに異常がある場合は、グリップヒータスイッチインジケータが以下の表示になる。各表示内容に従い点検を行う。

グリップヒータスイッチインジケータ	確認内容
1 回点滅する。 	1
2 回点滅する。 	2, 3, 4, 5
3 回点滅する。 	
インジケータが点灯しない	

1. バッテリ電圧の点検  
サービスマニュアルを参照し、バッテリー電圧を点検する。
2. コード類（端子、カブラ）が確実に接続されているか確認する。
3. グリップヒータの点検：  
端子間で各グリップヒータの抵抗値を測定する。  
→ 標準値  
  - <右側> : 8.2 Ω ± 10 %
  - <左側> : 8.2 Ω ± 10 %
4. ヒータハーネスの点検：  
導通を点検する。
5. 上記の手順 2、3、4 の点検で異常がない場合、ヒータが作動しないままであれば、グリップヒータを新品に交換する。  
スイッチには IC 回路が含まれているため、通常点検（電圧、導通など）では確認ができない。